

令和3年度 学校運営等に関する評価書

| | |
|------------|--------------------|
| 学校名 | 和歌山市立 太田小学校 |
| 作成日 | 令和 4年 3月11日 |

1 教育目標

豊かな心を持ち、自ら考え、正しく生きぬく子どもを育成する。

2 学校自己評価についてのご意見

| | 豊かな心の育成 | 確かな学力の向上 | 健やかな体の育成 | 地域とともにある学校 |
|--------------------------|--|---|--|--|
| 指標 | <ul style="list-style-type: none"> 朝の挨拶をした人数の割合(95%) 掃除を頑張った人数の割合(95%) 読書が好きである非人数の割合(80%) | <ul style="list-style-type: none"> 授業で自分の考えを伝えることができた人数の割合(80%) 週1回以上、自主的に家庭学習を行う人数の割合(80%) | <ul style="list-style-type: none"> 学校で運動している人数の割合(80%) 引き渡し訓練の実施 | <ul style="list-style-type: none"> 学校の様子がよくわかると答える人数の割合(90%) 各学年で地域との交流を授業の中に入れるようにする。 |
| 意見重点目標に対する | <ul style="list-style-type: none"> 「教科別等」の参観者の方々の太田小の子ども達への高評価に、スクールプランにむけて、取り組む先生方の姿にふれさせていただきました。 積極的に授業に参加発表している様子が伺えます。 | <ul style="list-style-type: none"> 「学習の跡」を模造紙で掲示されていましたが、子ども達の一生懸命考えた意見や思いを残すことは、子ども達の学習意欲を高め、話し合いを深める等すばらしいと思いました。 自主学習の掲示物にも子ども達の疑問や課題への意欲的な取組も拝見させていただきました。 学力に対して、文章を読む力、理解する力は本をよむことがスタートだと思います。文章の理解力から言葉への理解力も向上し、又、映像に対する理解力も向上するからです。 低学年のアンケートで④勉強がわかるの質問であまりわからないとの答えが高学年より多いのが気になりました。①の学校があまり楽しくないも低学年の方が多く、コロナの影響もあって、楽しめないのか、楽しみ方がわからないのか、勉強が難しいから楽しくないのか…。せつかくいい先生方がいて仲間がいるのにもったいないなと思いました。 | <ul style="list-style-type: none"> 学校外で外遊びや公園で遊んでいる子どもたちが少なく思います。 学校の情報は「太田っ子」をはじめ府警児童から豊富に伝わってくる。更に地域との交流の具体化を。 今年も学校行事の中止が続き、学校の様子や先生方のご様子、見えにくい部分もありました。保護者の多くは担任の先生以外はわからないという方も多い。 | <ul style="list-style-type: none"> コロナ禍で、地域との交流機会が減り、学校の様子は「太田っ子」を回覧で見られる程度の人が多いと思いますが、久々に太田小学校のホームページを見ると随分充実されているのに驚きました。常に最新情報を! 学校の情報は児童が持ち帰り、家庭地域に伝達されている。又、地域から情報発信、地域高齢者との交流、共同作業棟はコロナによりできない場合が多かった。 |
| 意見取組状況に対する | <ul style="list-style-type: none"> 読書に関してですが、低学年は、89%の児童が、中高学年では、83%の児童が本を読むのが好きだと、非常に良いことだと思います。ただ、保護者の46%が自己の子供が本を読まないと認識しているのが、非常に気になります。教科書を読む、教材をすること自体が読書と関連付けていないと思われまふ。文章を読むすべてが読書であるという認識が必要だと思えます。 挨拶運動は児童会の子たちだけで今年はしたのでしょうか?挨拶運動のために早く登校するという声を聞けなかったのです。 | <ul style="list-style-type: none"> 中高学年で、毎日の勉強がわかるという児童が90%を超え、保護者もアンケート9の質問に90%以上がそう思っていることは先生方の授業に対する工夫がされていることが窺えます。 | <ul style="list-style-type: none"> 低学年の児童たちは、元気に遊んでいる様子が分かります。指標よりも高い割合となっています。 高学年は、日頃スイミングやスポーツジム等で体力向上を図っているのが指標に達していないのかもしれない。 | <ul style="list-style-type: none"> 地域の自然・文化の積極的な活用として取り上げたり、教材化したものがあつたのでしょうか。 地域との対話、交流の機会を見つける。まず参画し、和の中に積極的に入る。 雨の日の保護者の送迎について、他の方と一緒にさせていただいたことがありましたが、やはり見守りの方がいると諦めて通過する方もいたり、交差点で車と子どもたちが混雑していた時に見てくださって安全が守られて安心がありました。 |
| 取組の適切さの検証結果に対する意見 | <ul style="list-style-type: none"> 挨拶ができること答えた人数の割合は指標をやや下回っているが、朝、見守りをしていると、以前よりも挨拶のできる児童が増えています。 掃除、読書は指標を大きく上回っていることは、太田っ子の伝統で、特に中高学年は低学年の手本になってほしい。 太田の子どもたちは、学年に関係なくかよしのイメージがありました。コロナ禍のため学年を歩き来することは難しいかもしれませんが、学年関係なく仲良くなればよいなと思います。 | | | |
| 改善方法に向けての意見 | <ul style="list-style-type: none"> 気負わず自然とできる挨拶は何よりも基本で大切だと思います。アンケートでは、1〜2割がそうではないとの結果。ここは指標の95%にしたいものです。 掃除を頑張った人数の割合の高さや豊かな心の育成という点から「掃除を愉しむ子」というのもどうでしょうか。 | <ul style="list-style-type: none"> 授業中自分の考えを進んで発表することができるというアンケートでは3割がそうではないとの結果。授業内容の理解度はじめ、積極性、アピール性、プレゼン能力、サービス精神等、様々な能力が試される育まれるだけに、指標の80%以上にしたいものです。 | <ul style="list-style-type: none"> 保護者の調査で2.4.5.6.7のわからないの比率が大きいです。広報の問題もあると思いますが、保護者が受け身の状態であり、もっと積極的に広報をしなければなりません。日曜参観時の教育講演会の参加率はいかがですか。昔学習塾の塾長に講演していただいたことがあります。非常に参加率が高かったと記憶しております。そのようなイベントを行い、多くの保護者に参加してもらい、その中で学校が取り組んでいる様々な施策を発表するとかの方法はいかがでしょうか? | |
| 3 その他のご意見 | <ul style="list-style-type: none"> 様々な取り組みをされ、大変、御苦労様です。種々の基本を身に付けることに加え、個人個人の個性を外に出せ、それが喜びと思えるよう、今後もよろしくお願ひします。 学校の出来事よく話すは、全ての調査で、26%前後が否定的ですが、なぜ、子どもが離さないのか?話せないのか?もっと掘り下げる必要があると思ひます。親子のコミュニケーション能力であり、家庭における子供の居場所の必要性を感じます。 地域住民との対話の機会(今昔等)をつくり子供たちと交流を図る。コロナ下で難しいと考えられるがよろしくお願ひします。 コロナの流行もまだ先が見えず、行事の判断が難しいことと思ひます。子ども達や保護者の願ひも考慮していただき、取り組んでいただき感謝してひます。卒業式も保護者2人OKと卒業生の保護者は喜んでおられまふ。今後も子どもたちが楽しい学校生活が送れますよう協力させていただけるとうれしいです。 今年こそコロナが収束し、以前の日常生活が戻ってくることをまふしてひます。教職員の皆様御苦労に深甚なる謝意を表ひまふ。 | | | |